

# 畜産経営

上原茂喜

社団法人岡山県

このたび酪農大学校を最後に岡山県を退職致しました。岡山県畜産会の常勤コンサルタントとして再度畜産畠で勤務することになりました。

振り返ってみると、県職員として十五年の間大過なく楽しく勤務することができました。このことは皆様のより良き御指導と情ある御支援の賜であります。

厚くお礼申し上げます。今後ともより以上の御指導と御支援をお願い致します。

さて昨今の畜産はある段階まで到着したと言うより、むしろ大きな壁に突き当たったという感じであります。が、今後この壁をどのように打開するかということが大きな問題であります。

畜産規模の拡大、経営の在り方、生産物価格問題、資金問題、飼料対策、家畜個体の問題、飼養管理等々の行政に関連するもの、農家自身で解決しなければならないもの、あるいは基礎的な学問の分野等に多くの未解決の問題があります。この困難な諸条件の中でそれぞれの地域の経

点があります。

主體性がなく積極的でないということは、知識技術以前の問題があるのでないでしょうか、私達が若い後継者と生活を共にしていて、物質に対する感心は極めて強く、生産過程の問題になると案外意慾がない、努力して研究することは少くなく、ねれ手で栗式の考え方があまります。ねばり強くコツコツ真面目に実行する態度に欠けているのが一般的であります。つまり精神的な強さ（根性または信念）がないといふことでありましょう。

しかしながら、農業の構造が複雑化して組織の進んだ現在においては、いわゆる根性のみでは解決できないことが多くなっています。だからといつて根性を認めないのであります。根性は人間の生き方に通じるもので、人それぞれに生き方があります。よがりの古い根性は、現在の農業では通用しないことは当然であります。

現今のように物質に片寄った生き方は、人間らしさの意義すら忘れてしまいます。また変ること自体が進歩す

## 畜産会常勤畜産コンサルタント



振り返ってみると、県職員として十五年の間大過なく楽しく勤務することができました。このことは皆様のより良き御指導と情ある御支援の賜であります。

厚くお礼申し上げます。今後ともより以上の御指導と御支援をお願い致します。

さて昨今の畜産はある段階まで到着したと言うより、むしろ大きな壁に突き当たったという感じであります。が、今後この壁をどのように打開するかということが大きな問題であります。

畜産規模の拡大、経営の在り方、生産物価格問題、資金問題、飼料対策、家畜個体の問題、飼養管理等々の行政に関連するもの、農家自身で解決しなければならないもの、あるいは基礎的な学問の分野等に多くの未解決の問題があります。この困難な諸条件の中でそれぞれの地域の経

济条件や自然条件を考え、最も効果の高い畜産経営を確立しなければならない時であります。すでに一部の畜産農家では、新しい姿で安定した経営を行っている人もありますが、経営を上手にしている人は共通してあります。つまり精神的に強いとしての生き方なり、ものの考え方がはつきりしていることであります。

私達は平素、知識や技術の吸収や研究することについては、熱心に関心を持っていますが、実際に農家でそれが應用され実行されることが案外少ないということは、日常感覚するもしないもその人柄によるという事であります。知識技術はその人によって吸収の度合や実用化的程度が相違し、上手に利用することができます。

一般的にいって、従来の農業はすべての面において受身の姿が多く、自分から進んで研究し検討する態度が少くないために、経営改善が思つたほど出ないのが実情であります。現在ではこの消極性が積極的にかなり変わっていますが、まだ農村には従来の情性があり自主性に乏しい

試験場だより		△鶏試 鶏のケージ管理における 夏季の軟水様便対策	△和試 梅雨時の乳牛と豚の飼養 管理	△昭和四十二年度試験研究 課題について	ニユース	編集後記
19	2	16	15	9	4	

播種子は  
マークが保証する

雪印のたね  
と御指定下さい

雪印種苗株式会社

岡山営業所 岡山市巣井1482-1  
TEL ⑤20395・⑤20438

ることになるのでしょうか。働くといふことについても二宮尊徳の考え方から、次のような考え方方に変化しています。ある人の著書から引用しています。「人より一時間、よけいに働くことは尊い。努力である。勤勉である。だが今までよりも一時間少なく働いて、いままで以上の成果をあげることも、また尊い。そこに人間の働き方の進歩があるのではないかろうか。それは創造がなくてはできない、くふうがなくてはできない。働くことは尊いが、その働きにくふうがほしいのである。創意がほしいのである。額に汗することを讃えるのもいいが、額に汗のない涼しい姿も讃え

るべきであろう。

怠けろというのではない。樂をするくふうをしろというのである。樂々と働いてなおすばらしい成果があげられる働き方を、お互にもつとくふうしたいというのである。そこから社会の繁栄も生まれてくるのである。要は農業が前進するためには知識技術も重要なことであります。農業者の人間としての生き方やものの考え方は、時代に応じて発展成長することが必要であると考えられます。

## ニュース

\*

\*

### 二ユーカッスル発生による陳情

計画されている。

### 鶏卵肉の消費宣伝に力を（養鶏協会）

研毒による三日熱を起すものの二つの発生が予想される。

予定

\*

月十三日から十六日までの四日間、中四国酪農学校で行われる。これには、関東以西（西日本）の三四都府県から自給飼料関係者約六〇名が参加の予定で、八名講師を中心にして研修が進められる。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

五月十二日、養鶏協会では総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、池田隆政の各氏を選任し、42年度の重点事業として、鶏卵肉の消費宣伝、地区的養鶏研究会の育成と併せてニューカッスル病の検疫対策の強化を取上げた。

一六年ぶりのニューカッスル病大発生により、関係機関は活発に動いているが、養鶏協会では、国に対して、殺処分手当の増額、共済制度の確立、輸入チキンの検疫強化を、県に対して、防疫組織の強化、ワクチンの購入助成、新箱切替えの指導、被害農家の再建資金融資等を陳情した。県農協四連では、県に対し、殺処分手当の上積み、予防接種費助成、防疫の徹底を要請した。

またふ卵振興会は、生ワク使用は、ふ化業者への影響が考えられるので、使用許可を保留するよう要請した。

\*

### 流感大発生の危険 予防接種を必ず！

岡山県下に発生したニューカッスル禍にさいして、直接間接に被害をうけられた方にたいしては衷心より同情の念にたえないと同時に、一日も早くその被害より立ちなおられ、日本の養鶏界が再び正常の姿にもどり、一層の発展をとげることを願うものである。

本病の発生予防に色々な方法が考えられて来たとはいって、現実に十万羽にもおよぶ県下の被害状況をみて、さらにもう一つの方法としての生毒ワクチンの使用を要望する声が出るのは当然である。しかし、生毒ワクチンの使用をよしとする意見と、なお時期尚早とする慎重論とが、各人の立場を反映しながら極端な対立を示している。しかもいすれの意見も、本当に我が国の風土、養鶏界の現状に基づいたデーターもなしに、單に、外国ではこうであったから、我が国でもこうであろうという程度の推量を基礎として空軒している観がある。その間に立つて、ニューカッスル病の流行におびえる養鶏家は、ますます不安の念にかられる結果となる。

本病の生毒ワクチンは諸外国では「弱毒株」からかなりの毒性を示すものまで各種が開発され数多くのメーカーが製造販売しており、國により違ひはあるにせよ、その使用を許可しているところも多い。

しかし我が國では、本病の生毒ワクチ

月十三日から十六日までの四日間、中四

国酪農学校で行われる。これには、関

東以西（西日本）の三四都府県から自給

全員見学に行き、現地検討を行う。

名講師を中心にして研修が進められる。

なお、最終日には、落合町の二鶴農家へ

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*

### 岡山県畜産会事業計画決る

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*

### 岡山県畜産会事業計画決る

畜産会は五月二十日、農業会館で総会を開き、会長惣津律士、副会長山上茂吉、

三宅忠雄、平松幹章、山田保、監事小野登志男、平本武夫の各氏を選任し、四十二

年度事業としてはコンサルタント事業を

中心に、地域の畜産技術指導の推進、畜

産経営指導、指標の作成

等の指導、

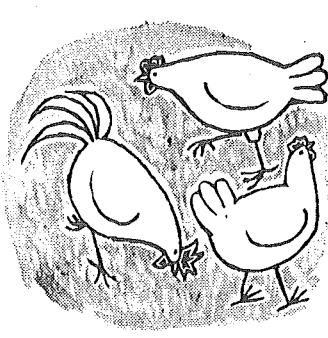
及び「岡山畜産便り」の発刊事業

市内で乳質業技術協会より講師を招き、

生乳品質向上技術研修会を開く予定であ

る。

\*



## 生ワク使用についての 考 察

岡山大学助教授 鳥 海 徹

(岡山県養鶏協会ニュース第1号より)

重論が重んぜられ、我が国ではニューカッスルの大流行はないもの、生毒ワクチニンは危険なものとして考えられてきた。そのため学会においても一、二の外国製の生毒ワクチニンに関する実験室内試験の報告が二、三あるのみで、野外応用試験にいたっては全くおこなわれていない。

ごく最近に至つて、やつとこれらとの試験が本格的におこなわれだしたというのが実情である。

このような試験がこれまでもう少し真剣におこなわれていたならば、生毒ワクチニンを使うにしても使わないにしてもそれも現在よりはつきりした指導がおこなわれていたであろうと考えると、研究者の一員としても大いに責任を感じざるを得ない。

世界のすう勢みると、生毒ワクチニンを使用の方に移りつ、あることは事実である。それ 자체は結構なことであるが、生毒ワクチニンを使用しさえすればニューカッスル病は一掃されると考えることは危険である。これを成功させるためには、我が国の状況に合つた「株の選定」がまことに、それがアメリカで完全であったといつて、我が国においても完全であるとは断言できない。このことは現在、鶏から鶏へ、鶏群から鶏群へと感染してゆく能力をもつている。もしそこに呼吸器病（C.R.D.、伝染性気管支炎等）にかかる鶏がいたとすると、それらの病原体と合併して、より高い被害を起す可能性がある。

たとえそれがアメリカで完全であったといつて、我が国においても完全であることはないにしても、しょせん生きたウイルスである。一度人の手を離れると、

鶏から鶏へ、鶏群から鶏群へと感染してゆく能力をもつている。もしそこに呼吸器病（C.R.D.、伝染性気管支炎等）にかかる鶏がいたとすると、それらの病原体と合併して、より高い被害を起す可能性がある。

かくといって、我が国においても完全であるとは断言できない。このことは現在、県下のニューカッスル禍の陰にかくれて問題とされていないが、「育成率九五%」のキヤツチフレーズで輸入されたはずのいわゆる外国鶏が、最近中四国地方をはじめ、関東一円で白血病（リンパ腫症）の多発に悩まされていることをみても想像されるところである。

従つて、現在農林省によつておこなわれている現地応用試験が、あらゆる場合を想定した慎重な計画のもとにおこなわれることを期待するとともに、国情にあつた生毒ワクチニンの開発、投与方法の改良等の試験がおこなわれることを期待してやまない。そして、これらを実地応用して我が国に、優秀な生毒ワクチニンを定着させるためには、養鶏家諸氏の一層の試練と協力が必要であると考える。

従來の慎重論において主として述べられて来たのもこの点であつて、生毒ワクチニンといつても、もとはれつきとした二ユーカッスルウイルスである。これを人

# 乳牛多頭飼育經營

## における自給飼料

### の栽培と利用

これは、去る三月十七日、岡山県畜産会主催で開かれた中核農業者群育成事業地方優良事例発表会で発表された経営実績のうち、優秀なものを紹介しているものである。』

#### (発表者)

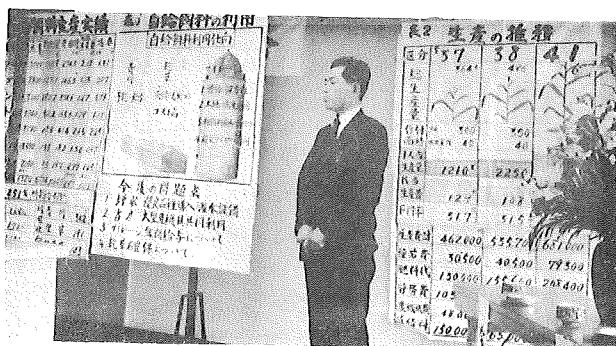
勝田郡奈義町上町川

水島 長

#### 3、動駆機と協業に踏切つた

4、経営の推移

規模拡大については受入態勢に応じて頭数を増す事を原則としたが、早く収益をあげたいとのあせりから搾乳牛を導入したが、個体差があり、ものいわぬ家畜をいきなり集団生活に入れた為に期待した乳量が搾れないばかりか事故牛も出るなど、諸々の苦い体験をした。しかし一度あつた失敗は二度と繰返さないように



発表する水島氏

表一 経営の推移

年度	昭和37年	昭和38年	昭和41年
乳牛頭数成牛	18	22	33
(年度末飼育)育成牛	2	2	7
搾乳量	72,140kg	84,860kg	139,776kg
年間1頭当たり搾乳量	4,590kg	4,715kg	4,990kg
年間1頭当たり管理労働時間	268時間	216.8kg	188.8kg

#### 今後の課題

1. 乳牛の質の向上 乳量 5,500~6,000kgに引き上げ 牛乳の売却益を高める。
2. 耐用年数を長くする。
3. 更新(自家育成)

表二 自給飼料生産の推移

区分	昭和37年	昭和38年	昭和41年
総生産量	364t	496	677
作付面積	畠 300a	350	350
水田裏作	40a	40	40
1人当たり生産量	1,210kg	2,250	4,130
kg当たり生産費	129円	1.08	1.01
F M率	31.7%	31.5	33.1
生産費計	462,000円	535,700	681,000
種苗費	30,500kg	40,500	79,300
肥料代	130,000円	155,600	208,400
労務費	103,500円	117,200	135,800
農機具費	48,000円	57,400	82,500
賃借料	150,000円	165,000	175,000

努め、表二のように頭数と乳量もふえ、昭和四十一年度は育成の初産牛を八頭も搾ったのに平均四、九九〇kgの予想以上、の成績であった。昭和四十一年度は目標の搾乳牛三十二頭になつたので今年は、六〇、〇〇〇kgの搾乳量実現可能となつた。管理労力は当初機械に牛も人間も馴れなつたが、多くの労力を要したが、年々省力化されて、人くらいの節減も可能となつた。

#### 5、自給飼料対策

自給飼料生産が牛の生理に、ひいては経営収支に大きな影響を与えるが、今日迄得た飼料作物栽培の実績を申上げて見る。

生産の推移は表3のとおり。

- ① 当初資金の関係で大農具の良いのがなく、手労働に多く頼つた事。
- ② 箱庭式農法の意識が抜け切らず、諸作業に無駄が多くなつたことにより、人

当り生産量が非常に少かつたが、昭和四十一年には約三・五倍の労働生産量に高めた。生産費も四十一年度は人件費五十%のベースアップをしたが、省力化と增收ができたので毎当り生産費を切り下げた。

乳搾りは土作りからを牧場のモットーにして、年間一〇a当たり堆肥一万千kgを施

#### 6、昭和四十一年度の栽培実績について

乳搾りは土作りからを牧場のモットーにして、年間一〇a当たり堆肥一万千kgを施すし、石灰及びケイカルを多用し、3年に大型耕耘機で深耕する等土壤改良に努力した結果、土壤条件は表一のとおり改善された。

しかし限られた耕地で多くの牛を飼うため、適地適作、多肥栽培に基づいて一頭の年間必要粗飼料を一〇aで生産しようとすると、

- ① 生産収量の高いもの
- ② 質の良いもの
- ③ 生産費の低いもの

以上の考え方で作物を選定し、現在表四

1、環境と立地条件

岡山県の東北端に位置し、中国山系の麓で自衛隊の日本原演習場が周囲にある。また台風が紀伊半島沖を通過すると、必ずフェーン現象による地域的突風(広い風)が吹き、農作物や建物に甚大な被害を受ける。

#### 2、経営の概況

終戦後外地より帰り入植した。

3家庭で昭和三十六年十一月酪農協業に踏切り、現在協業体の利用している経営基盤は表一のとおりである。

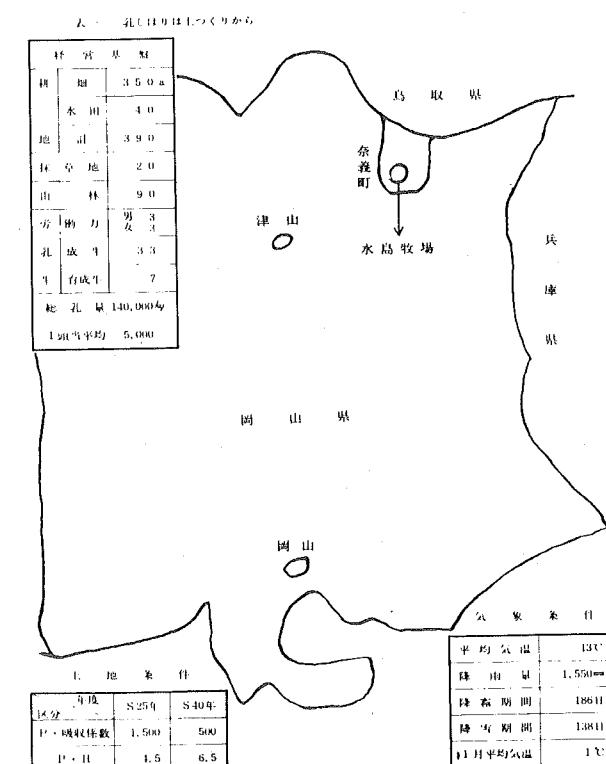
昭和三十九年三月周囲を演習場に買収され、私達の土地も一部買取され耕地拡大が不可能になつた事が最大の悩みの種である。

畑作農は多くの労力と高度の技術を要する割に災害を受け易く、生産物とその価格が不安定で、多角経営をしてきたが、労する割に収益があがらず安定した経営が望めない。

畑作農で最も悩まされる雑草との斗いを止めて、これを利用し得る酪農を取り入れて漸次作目を草作りのみに整理して、酪農一筋に進み、昭和三十五年成牛五頭揃えたが、労力と資金で行詰つた。

手労働では三百六十五日働き続けても、乳牛の管理と飼料栽培に十分手が廻らなければかりか、夫婦どちらかが病気になつてもたちまち行詰るという限界がきた。

少ない資本でもこれを集約して、設備を整理し、更に多頭化へ規模拡大し、企業化による自立のみちを開こうと協業へ踏切つたのである。



のとおり七作目に限定し、これを組合せた輪作体系で作付して三十五人で六七万kgの生草を生産した。

## 7、作物別多収穫の要点

### 1、イタリアンライグラス

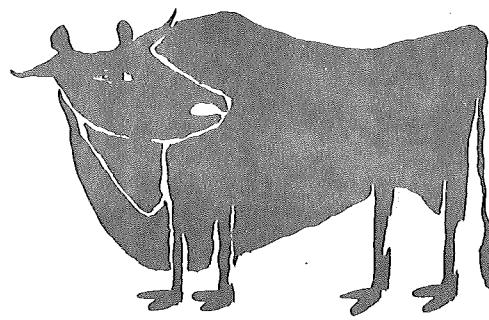
四十年マンモスイタリアンを導入し、試作結果（a当り）八五kgを記録したので、四十一年は作付面積を五〇%に殖やして増収を見込んでいる。

○播種期は九月下旬迄。

○播種量はマンモス三kg、在来種四kg。

○年内最後の刈取りは十二月上旬迄、分けつを促進して根茎を充実させる。

○適期刈取の励行（草丈四十cm）。



乾草……七月八月の旱天期に労力的に可能な範囲で野草を利用する。

サイレージ……大量生産する為、予乾できない時は水分調節に稻ワラを使う。

材料別に糖蜜、糖類を添加して品質の向上をはかりながら、年間一食給与している。

その結果①毎日の草刈労力に弾力性があり、外部雇用労力を完全になくした。

②最高収穫期に刈取るので単位面積当たりの収量があがり、作付の回転が早まり土地の高度利用ができる。

## 9、自給飼料生産について

### 今後の課題

①より優良品種の導入と栽培技術の改善で増収をはかる。

⑤乾草確保は割安にできる方法が研究できたら増産に努めたい。

②灌水施設を夏草の増収をはかりたい。

③大型機械の共同利用をはかりたい。

④サイレージ年間給与の障害について研究する。

⑤数字に弱いので、経営から無駄をな

くするため、数字を中心とした経営でありたい。

②当初計画の立案において、細部までの検討ができるない為、無理と無駄が多く失敗した。

③農民の為の制度資金が利用できず、高利（九分五厘）の資金を多く使い

## 10、協業経営による問題点

①より優良品種の導入と栽培技術の改善で増収をはかる。

②灌水施設を夏草の増収をはかりたい。

③大型機械の共同利用をはかりたい。

④サイレージ年間給与の障害について研究する。

⑤乾草確保は割安にできる方法が研究で

きたら増産に努めたい。

⑥農業確保は割安にできる方法が研究で

きたら増産に努めたい。

⑦農業確保は割安にできる方法が研究で

水 分	固 形	非 蛋 白 K	M g	N a	98.499%	1.500〃	無 機 C 1	P	10.06mg/dl
分 分	N N	C a	K	M g	62.01mg/dl	54.45〃	C O 2	619.34〃	153.11vol/%
固 固	形 形	K	M g	N a	4.581	39.48	ローダン 比	6.783mg/dl	1.0061
ム ム	チ チ	M g	N a		3.05	409.74	PH 粘 度	8.64	24.9

表二 牛の唾液成分（梅津）

咀しゃくが行なわれるが、このさい大量

の唾液が分泌され、間断なく第一胃に流

れる。実験的に唾腺のろう管をつくつ

て、分泌量を測定した試験成績では、一

日五〇mlという量が発表されている。

実際にには、それ以上の量が採食時、また

反芻のたびに分泌してくると思われる。

この唾液は飼料の嚥下を円滑にするの

に役立つといふので、この

約六〇%に当る

量の重炭酸ソーダを含んで

いるので、これが第一胃で

産生される低級脂肪酸を中和して、微生物の生育によ

い培養基にす

るための働きをしており、また同時に、

炭酸ガスを暖氣として放出している。

## 11、協業経営による成果

多くの利子を要した。

①労力は現在サイロ詰込、飼料播種期に全員出るが、飼養管理は二人で行い、二日働き一日休むので、一ヶ月十日は牛の事から離れて自由な時間が持て労力的にゆとりができた。

②飼料生産、飼料管理、庶務の三部門に分け責任を分担しているので、堀下げて研究できる。

③資金不足から極力施設、機械器具への投資を切詰めたので労力的に苦勞したが、今では借入金が少く良かった。

以上経営の概略を述べたが裸一貫で体

が持て労力的にゆとりができた。

④サイレージ年間給与の障害について研究する。

## 唾液の効用

牛は、採食後または飲水後に伏臥して反芻を始めるのが普通であるが、たつたま、または歩行中でも反芻をすることができる。しかし、強い労働中や速い歩行中には反芻はできない。

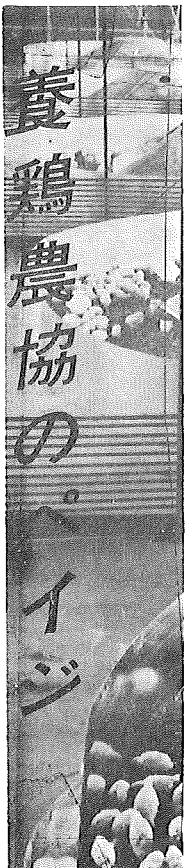
反芻は、粗飼料を多給して満腹感を与えると活発に行なわれるが、吐出、再咀嚼をくり返されて、再嚥下後、しばらく休ん

で反芻をするため、反芻周期が形成されてしまう。反芻は、普通一回に40~60分か

けて行なわれるので、一昼夜で八一〇回の反芻をすると、一日に七~一〇時

で反芻をするため、反芻周期が形成されてしまう。反芻は、普通一回に40~60分か

けて行なわれるので、一昼夜で八一



## クチ・コミニケーションは 鶏病におとらずおそろしい

「病気も恐ろしいが、法律はもっと恐ろしい」と、法定伝染病が発生した養鶏家が申しました。身につまされる思いでそれを聞きましたが、その後、「クチ・コミニケーション」もまた、それに劣らない恐ろしい存在であることを、いやというほど知られました。

「人のうわさも七十五日」とか申しますが、少しずつ変った形でうわさがとべば、八十五日××となります。まことにわざらわしいことで、しかも、そのほとんどが数万数十万、時には数百万円の損失を伴うですからやりきれません。ずいぶんいいわけめいたこともいつてみましたが、けつきよく、いいわけをしないで黙殺することが、クチコミ対策として最も賢明だと知られました。

岡山県に鶏病が出ないのはおかしい。これは数年前から、疑わしそうな顔をしながらよくいわれたものです。だから、津山市に発生したと公表されたとき、それが、藤崎の二羽鑑定殺、二十四羽殺処分のときは、むしろ逆に同情されました。岡山県はバカ正直すぎる。と。同

雌の予約解消が相次ぎ、注文はがた減りました。岡山市というだけで、地域を限定して雛の移入を禁止していた各県も、ほとんどの全県指定に切り替えるか、少なくとも指定地域に岡山市を加えました。毎日

の予約解消が相次ぎ、注文はがた減りました。育雛センターでも、損害は計りきれないほどです。別に行政的な措置が取られないまま、クチコミによつて同じような状態でした。特にブロイラー用雛の打撃が最も激しく、この事態はまだまだ当分続くでしょう。

そのころのことです。予防注射をしていない県でも、クチコミによつて同じ人がいて、あそこに怪しい病気が出ているのではないか、と、わざわざ畜産保健衛生所や、県の畜産課、市の農産課等へ電話を掛けてくれました。また、移動禁止区域内で飼われている種鶏の卵を孵化させなくなるよ。なんていわれたものであります。だから、お前の所で何とかしたのではないか。お前の所にも、かなり鶏が飼われているが、それには商売になりません。先日、ある養鶏団体から寄稿を求めるでは、紙面では「卵化」と直してあります。といつて、養鶏関係ではざらに使われるこの熟語を、養鶏関係者が、養鶏業界紙までわざわざふ卵とか育すうと書かなくてよいと思ひます。言葉を換えて見ても、卵をかえすやひなを育てる

前項で述べた環境に関する事項が適切である限り、鶏の体感温度が特に上昇することはなく、飲水量も過剰にならず、十分である場合は、鶏自体に対して次のように適切な配慮をしてやる必要がある。

前項で述べた環境に関する事項が適切である限り、鶏の体感温度が特に上昇することはなく、飲水量も過剰にならず、十分である場合は、鶏自体に対して次のように適切な配慮をしてやる必要がある。

## II 鶏体に対する処置

(5) 底蔭樹等の活用  
動物と植物は常に共存共栄の立場をとるべきものと考えるが、鶏の管理でも植物を活用し鶏舎内外の温度上昇を防ぎ、また、鶏に対する輻射熱の影響を最少限にすべきである。鶏舎の周囲に底蔭樹を植え、裸地をふさぐために芝生その他の草を植える必要がある。

(1) 不安定感からくるストレスの排除  
ケージ管の鶏にとって、ケージ床の不安定およびケージの左右動からくるストレスは、軟水様便を排泄する原因になる。

表二 軟水様便排泄に対するストレスの影響

(山口県種鶏)

	産卵率%	飼料摂取量g	鶏糞の形状別分布 %			
			A	B	C	D
対照区	68.5	95.5	51	31	12	6
ストレス区	67.1	101.2	17	37	27	19

注 1) 試験期間は1960.6.28~8.31

2) ストレス区はケージ床が非常に弱いものを使用

3) A…堅い普通 B…やや柔軟 C…やや流動的  
D…流動的

### 1、生理上の対策

(1) 不安定感からくるストレスの排除  
ケージ管の鶏にとって、ケージ床の不安定およびケージの左右動からくるストレスは、軟水様便を排泄する原因になる。

これに関連した山口県種鶏場の報告がある(表二参照)。表二に示すようにケージ床が非常に弱く不安定な区の鶏糞の状態は、対照区のそれに比べて著しく軟水様である。したがって、ケージ管では、ケージの床が丈夫であつて安定していいることが軟水様便防止上大切なことである。

### 2、飲水上の対策

(1) 飲水量の制限  
前述のように、鶏は気温の上昇に伴つて体温放散のために飲水量が増加する。この場合、汗腺をもたない鶏は水分を主として糞尿とともに排泄するので、鶏

給水時間を一定にして給水量を制限する方法である。朝晩夕一日三回一定時間だけ給水して給水量を制限する方法は、適切に実施すれば産卵、飼料要求率などに悪影響を及ぼすことなく、鶏糞の状態を大いに改善することが各試験研究機関の試験成績から認められる。(一、四参

表三 制限給水による軟便防止試験(岡山県鶏試)

区分 期間 区別	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III		
15分間給水区 " 対照区	62.9	69.5	65.8	84.7	107.0	94.1	2.04	3.32	2.65	202	2.13	2	1	3	2	1	3
	60.5	63.9	62.0	50.1	114.5	100.1	2.68	3.20	2.90	295	3.36	2	3	5	1	6	
30分間給水区 " 対照区	59.9	59.0	59.4	26.3	112.8	97.9	2.61	3.19	2.88	191	2.15	1	0	1	2	0	2
	65.0	59.2	62.4	89.2	109.3	98.0	2.49	3.14	2.77	260	3.63	1	0	1	5	0	5
60分間給水区 " 対照区	62.9	63.4	62.9	89.7	113.5	100.1	2.74	3.31	3.00	231	2.86	0	1	1	3	0	3
	61.1	61.0	61.1	86.4	106.5	95.1	2.68	3.40	2.99	293	3.62	0	1	1	5	1	6

注 1) 試験期間 I ……制限給水の期間中 (7.16~9.23)  
II ……同終了後 (9.24~11.18)  
III ……全期間 (7.16~11.18)

2) 鶏糞の状態は点数をもって表わしたもので、その評点は水様便5、軟便4、やや軟便3、普通便2、固便1とした。

表四 制限給水による軟便防止試験

(東京都畜試浅川分場)

	産卵率%	飼料摂取量g	飼料要求率	飼料の含水量%
対照区	54.7	107.2	3.33	84.8
15分間給水区	64.2	102.0	2.68	75.0
30分間	59.2	108.2	3.01	80.5
60分間	59.8	102.4	2.91	80.8

注 1) 試験期間は1965.6.17~9.30

表一 ケージ管理における夏季の軟水様便対策

I 環境に関する事項	1 環境温度上昇の防止	(1) 鶏舎建設の場所 (2) 鶏舎の構造……全体の構造、屋根の形高さ (3) 人工的換気通風……換気扇 (4) 鶏の収容密度 (5) ケージの配列 鶏舎内器物の配置 (6) 底蔭樹等の活用
II 鶏体に対する処置	1 生理上の対策	不安定からくるストレスの排除…ケージの固定、ケージ床の安定
	2 飲水上の対策	飲水量の制限…… a. 給水の時間的制限 d. 絶対給水量の制限 c. 薬物添加による給水量の制限 d. 給水器の改善による給水量の制限

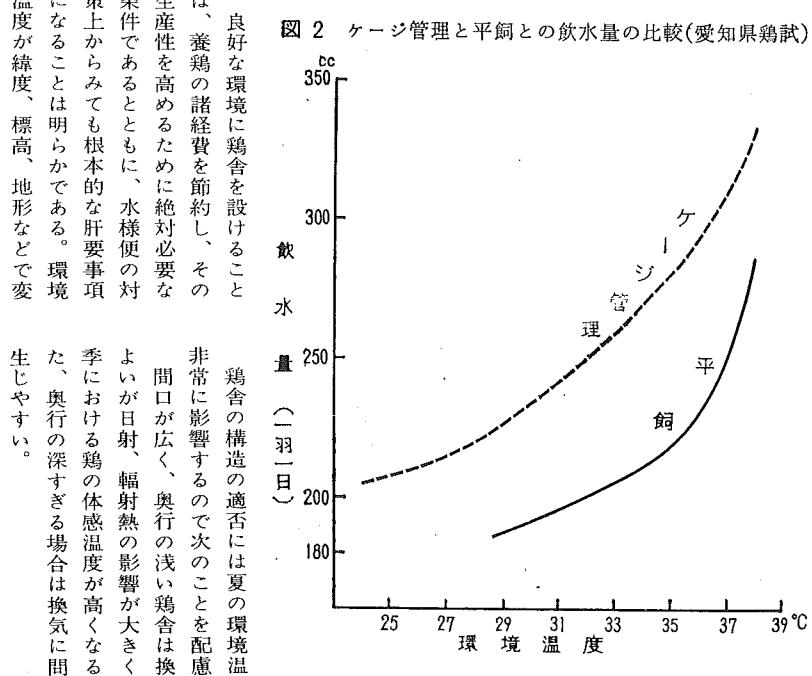


図2 ケージ管理と平飼との飲水量の比較(愛知県鶏試)

鶏舎の構造の適否には夏の環境温度が良好な環境に鶏舎を設けることは、養鶏の諸経費を節約し、その生産性を高めるために絶対必要な条件であるとともに、水様便の対策上からみても根本的な肝要事項になることは明らかである。環境温度が緯度、標高、地形などで変化することは当然であるが、それはさておき、ある限定された地域において鶏舎の建設場所を選定するには、その周囲の自然環境条件、周囲の建物などの細部について十分調査し、夏涼しく風通しの良い場所を選定することが大切である。また、なるべく敷地を広くとり鶏舎の間隔を広げ通風をよくする。

### (2) 鶏舎構造

鶏舎の構造の適否には夏の環境温度が非常に影響するので次のことを配慮する。非常に影響するので次のことを配慮する。窓口が広く、奥行の浅い鶏舎は換気は難易が日射、輻射熱の影響が大きく、夏季における鶏の体感温度が高くなる。また、奥行の深すぎる場合は換気に問題を生じやすい。屋根の形は舎内の換気に関係する。モニター型やセミモニター型は換気、ときには無風時の換気をよくする。屋根材料が大きい材料を選ぶ必要がある。

軒高が低いと一般に屋根からの温度影響を受けやすく、換気もわるく舎内温度が高くなりやすい。軒高は二・六m以上にすべきである。

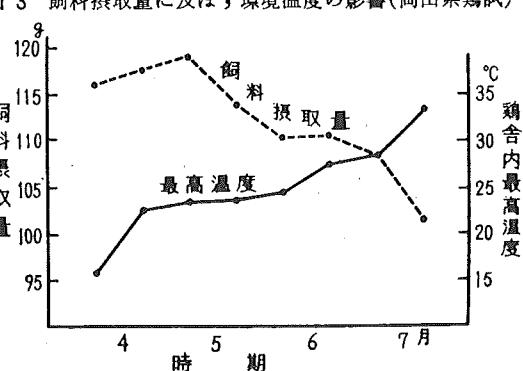
(3) 人工的換気通風

鶏舎の諸条件が不良であり、また、換気通風が悪いために夏季に舎内気温が上がり、鶏舎では、換気扇を使用して人工的に換気通風を促進する必要がある。開放式ケージ鶏舎においては、通路の上方に約五m間隔で直径四十cmの換気扇を取りつけ、斜めに床に吹きつけるようになると効果がある。

### (4) 鶏の収容密度

鶏の体温の放散量は舎内温度、体重、活動性などにより異なるが、体重一・八kgの鶏の一時間当たりの平均放散量は約九・一calである。したがって、一千羽収容の鶏舎においては、通路の上方に約五m間隔で直径四十cmの換気扇を取りつけ、斜めに床に吹きつけるようにすれば、三kgの燃料を消費する石油ストーブの燃費がある。

図3 飼料摂取量に及ぼす環境温度の影響(岡山県鶏試)







考えられます。

2、牛体の健康管理

農家は一年中でも一番忙しい田植時期と重なり、労力の少い家ではしばしば管理がおこなります。四月以降

数分間浸してブラシで洗浄し、水洗の後更にアルカリ洗剤を使用し水洗を行います。

豚は他の家畜に比べて発育が非常に速く、非常に大切な事であります。

肺虫症は豚が「みみず」を食べる事により感染しますから、予防には蛔虫と同様運動場の土の入れ替えや消毒、舎内の

ライナーニムも汚れ易い部分ですから  
よく清掃します。

いので、発育途中で寄生虫に侵されると発育が阻害され、経済的にも大きな被害を蒙ります。

熱湯消毒を行い、豚舎の周囲やえさの給与場所は清潔に保ち、また乾燥をよくして「みみず」の住むことのないようによく気をつけます。

昭和四十二年度試験研究  
課題二〇八

渡辺滋樹

試験課題	説明	供試牛・場所	試験期間	摘要要	和牛産内能力検定 (直接法)	
					和牛の産肉能力を早期に判定し増体能力の高い優良種雄牛を選定するため将来種雄牛として供用可能な雄牛を購入し産内能力検定法に基き直接検定を実施する。その結果検定成績優秀なものは種雄牛として供用する。	
農業構造改善地域における技術確定調査研究	和牛産内能力検定 (間接法)	和牛の改良に最も大きな影響のある種雄牛の早期判定の重要な手段として、産肉能力検定間接法の規準に基いて間接検定を実施する。この検定は、優秀と認められる特定の種雄牛から生産された雄子牛(去勢)一セット六頭を、同一条件の下に飼育管理し、産肉性(増体成績、肉質等)の検定を行ない、その結果の良否により該当種雄牛を選択する。	岡山県内産、血統体型、資質等の優秀な雄牛子六頭	各セット共予備期20日第一期15週第二期16週第三期16週	予備期30日第一期15週第二期154日	和牛の産肉能力を早期に判定し増体能力の高い優良種雄牛を選定するため将来種雄牛として供用可能な雄牛を購入し産内能力検定法に基き直接検定を実施する。その結果検定成績優秀なものは種雄牛として供用する。
農業構造改善の推進に伴ない、肉用牛をとり入れた農業経営の技術確定のため、肉用牛を基幹作目として事業実施する当該地区の技術的内容を調査する。	若令牛の肥育に関する試験とくに去勢処理法の相違とその肥育効果についての試験	不耕起法(刈払火入方式)により、簡易造成した急傾斜草地に和牛の若令去勢肥育牛を放牧するためのもので、そのねらいは、山間急傾斜の未利用地を、簡単に草地造成し、季節的産草量、採食量、飼料価値、エネルギーの消費量を究明して、急傾斜地における放牧飼養管理技術と草地の維持管理技術を確立する。	○種雄牛柏鵬号産子六頭○種雄牛中昭号産子六頭○種雄牛未定産子六頭	各セット共予備期20日第一期15週第二期16週第三期16週	各セット共予備期20日第一期15週第二期16週第三期16週	若令牛の肥育に関する試験とくに去勢処理法の相違とその肥育効果についての試験
真庭郡湯原町 (構造改善参加農家)	黒毛和種繁殖牛を中心とした草地における放牧可能傾斜度の限界に関する試験	若令牛の肥育は、去勢牛がその主体をなしているが、この若令牛の発育と増体効果を一層促進し、より効果的な肥育技術の見出るために、去勢牛、部分去勢牛(半去勢)および無去勢牛三区について、同一条件の下に飼養管理して、その肥育効果を検討するものである。	同一父親の産子で生後七ヶ月七八カ月のもの一〇頭を供試する	○去勢区三頭○部分去勢区三頭○無去勢区三頭	予備期14日放牧期182日仕上期133日	予備期329日間第一期14日第二期16週第三期16週
昭43.3.31	昭42.4.1	150日間 (放牧期間中)	試験場内飼養の黒毛和種繁殖牛一〇一五頭	単県	総合助成	単県
総合助成						

昭和四十二年度における、当場の和牛に関する試験研究の概要について、左記のとおり説明します。ご意見、ご批判をお願いしかつて、ご協力ををお願いします。

梅雨期には落等乳が多く発生しますが、そのためには清潔な牛乳を生産する事が大切で、牛舎と牛体、搾乳者や使用器具は清潔でなければなりません。

搾乳機使用の場合は、使用後器具に付着した牛乳が乾かぬうちに早く水洗（湯が可）して洗い落し、そののちアルカリ洗剤で洗浄して脂肪や蛋白質を除去します。しかしアルカリ洗剤だけでは、蛋白質や塩類の固着した乳石を除去することはできませんから、七日に一度は酸性洗剤液（例えはエクリン18号一%液）に

3、清潔な搾乳

なりますからよくブラシをかけてやり洗淨も行う等して、皮膚や蹄が不潔になるのを防ぎます。

床は捨てます  
をひろげる原  
されていない  
搾った牛乳  
クーラーがな  
利用し日金を

のと牛舎内に繁殖して乳房炎の原因になりますが、案外励行なので十分な注意が必要です。は速かに10℃以下に冷却しない場合には流水や井戸水を作り冷却します。

次に豚蛔虫と並  
ます。

並んで常在性の寄生虫に  
肺虫が気管枝に寄生して  
すが、成豚は普通病状を  
か離乳直後の環境の変化

秋子の死産（黒子）の原因となることが多いので、先に述べたように薬剤散布や清掃を行つて蚊の発生を防止すると共に日本脳炎予防液の注射をしておきます。また梅雨明けと共に、酷暑の時期になれば、今までは行かなかった蚊噴射を行います。

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”  
農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七  
小六農機株式会社

T E L. 岡山②40307(代) 岡山市外専用 110  
営業所 高梁・金川・児島

社団法人岡山県畜産会では左記の畜産映画フィルムを借り出しを行つております。ご希望の方は畜産会までご連絡下さい。本の消耗料として、一本一回の貸出しにつき一、二百円です。

映画で勉強しよう。

◆ ◆ ◆

◆ 酪農 ◆ 養鶏

酪農経営の改善、乳牛のエサと繁殖  
牛の栄養と消化

成功する養鶏経営、養鶏経営の改善  
上手な牧草の作り方と利用、水田に

マナワソライオンズクラブと留学生の交換による親善事業を計画され、岡山県から二名の青年が選ばれて酪農の勉強のために留学することになり、七月二日出発の予定である。この新しい事業が両国間の親善を深めると共に、本県の草地酪農の発展に役立つことを祈つて已まない。「岡山畜産便り」も構想を新らたにして編集することになった。読者の皆様の御意見を拝聴してより良きものにしたいと念願しているので、御協力を賜ると共に御遠慮なく御希望を寄せて頂きたい。又地方便りの欄も設け、地方の動きもお知らせしたいので、特別な行事等のある場合は、お知らせ願えれば幸いである。六月は梅雨期である。人も家畜も衛生に充分注意しなければならない時である。御健康を祈る。